

MONTHLY LETTER GOVERNOR'S

2025-26年度 国際ロータリー第2730地区

2026

3

vol.09

2025-26年度 メッセージ

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう



延岡城跡 千人殺しの石垣と桜

延岡市 城山公園

2025-26年度

ガバナー月信 ～今月の見どころ～

- インターアクト年次大会報告
- クラブ活動報告
- 社会奉仕委員会便り
- 寄付金報告 etc

Rotary
District 2730



2025-26年度 国際ロータリー第2730地区

西本幸則ガバナー事務所

〒885-0072 宮崎県都城市上町8-9 メインホテル4F
TEL:0986-36-6130 FAX:0986-36-6131 Email:g-office@ri2730.org



▲ガバナー月信は
こちらから

Contents

—目次—

- 1P 目次 基本理念 ロータリーの目的
- 2P ガバナーメッセージ
- 3P インターアクト年次大会報告
- 5P クラブ活動報告
- 15P 社会奉仕委員会便り
- 17P ハイライトよねやま
- 19P 寄付金傾向
- 20P 会員数動向
- 22P 寄付金報告／クラブ変更のお知らせ

ロータリーの目的

2012年(平成24)日本語訳を綱領から目的に改定 条文の訳も改訂

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーとは 基本理念

奉仕の理想
『Ideal of Service』

第一標語

超我の奉仕
『Service above Self』

第二標語

最もよく奉仕する者、
最も多く報いられる
『One profits most who serves best』

4つのテスト The Four-Way Test

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ガバナーメッセージ

ガバナーメッセージ

2025-26年度 国際ロータリー第2730地区

ガバナー **西本 幸則**

NISHIMOTO YUKINORI
(延岡中央ロータリークラブ)



国際ロータリー第2730地区の皆様、いつもご協力頂き誠にありがとうございます。

次年度国際ロータリー会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏(ナイジェリア)は、メッセージを「持続可能なインパクトを生み出そう」と掲げられて、2026年2月28日に有村茂樹ガバナーエレクトにより、地区チーム・ラーニングセミナーの中で、国際協議会の報告をされました。また、メッセージの内容の説明があり、地区の方針が決められました。今後PELS(会長エレクト・ラーニングセミナー)、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(旧地区研修・協議会)がありますので、皆で協力して参りましょう。

さて、3月は「水と衛生の月間」です。安全な水、適切な衛生環境、そして衛生教育は人々の健康と尊厳を守るために欠かすことのできない極めて重要な基盤です。

現在も世界には、安全な飲料水を得られず、衛生設備が不十分な環境で生活を余儀なくされている人々が数多く存在します。こうした状況は、感染症の蔓延や教育機会の損失、さらには貧困の連鎖を引き起こす要因となっています。水と衛生の問題は、単なるインフラ整備にとどまらず、命、健康、教育、そして地域社会の持続可能な発展に直結する課題です。ロータリーは、この分野を重点分野の一つとして掲げ、井戸の設置、衛生設備の整備、衛生教育の推進など、世界

各地で数多くの奉仕活動を展開してまいりました。これらの活動は、現地の人々が自立し未来への希望を持って生活できる環境を整えることにつながっています。第2730地区におきましても、これまで多くのクラブが地域社会や国際社会に目を向け、水と衛生に関わる意義深い奉仕活動を実践してこられました。改めて、皆様の日頃のご尽力に深く敬意と感謝を表します。本月間を機に、私たちロータリアン一人ひとりが「水と衛生」というテーマを自分の事として捉え、身近な地域から世界へと視野を広げ、どのような奉仕ができるのかを考えてまいりましょう。小さな気づきや行動の積み重ねが、大きな変化を生み出します。ロータリーの理念である「超我の奉仕」のもと、清潔な水と衛生的な環境を次世代へつなぐため、皆様と共に歩いていけることを心より願っております。

どうか是非、例会で話し合ってみてください。

指宿ロータリークラブ (2025年8月9日・10日) 第60回インターアクト年次大会(指宿大会) 開催報告

2025年8月9日(土)～8月10日(日)に、第60回インターアクト年次大会が指宿市にて開催されました。主管は、指宿市立指宿商業高等学校インターアクトクラブであり、ホストクラブは、指宿ロータリークラブが務めました。宮崎県内及び鹿児島県内の11の高等学校のインターアクトクラブが参加し、高校生100名、引率教諭13名、ロータリアン39名の登録がありました。

1日目は、指宿市の山川文化ホールにて開会式を開催した後、知覧特攻平和会館を見学し、その後、グループワークとして、①山川地熱発電所の見学 ②鰻温泉のスメ体験 ③えい茶もみ体験などを行いました。夜は、宿泊先のくり屋食堂旅館にて、花火をして大いに盛り上がりました。2日目は、各学校のインターアクトクラブの活動

報告があり、各クラブにて創意工夫して、楽しみながら活動していることがよくわかりました。最後に、インターアクト生全員は、それぞれに2日分の感想文を書き、その感想文は、報告書により参加者全員が共有しています。

感想文を読みますと、インターアクト生の若い心に、知覧特攻平和会館で見聞した先達の覚悟や悲しみ、恵み豊かな指宿の自然の躍動など、いくつも突き刺さるものがあったようです。また、学校の枠を超えたインターアクト生との交流を通じて、互いに刺激を受けたものと思います。

ホストクラブとしては、事前に周到に準備してきたつもりでしたが、当日は、インターアクト生の若さとパワーに圧倒された2日間でした。

指宿RC 青少年奉仕委員長 梅垣 晃一



鹿屋ロータリークラブ (2026年1月17日)

第31回なわとびチャンピオン大会

今年の大会は、鹿屋市内10校より約150名の小学4～6年生がエントリーしてくれました。団体戦となる長縄8の字跳びは、6チームの出場となりました。

とくに盛り上がる長縄8の字跳びですが、前回大会で優勝した学校を目標に練習を重ねてきて、見事、雪辱を果たすことができた学校があり、みんなで喜ぶ姿が印象的でした。

なわとびは、だれでも・どこでも気軽にでき、持久力・しゅん発力・リズム感・足腰の強化など、

体力づくりには欠かせない運動ということで、子ども達と一緒に競技ができるよう健康づくりをかねて次の大会までにちょっと跳んでみようかなと話す会員もいました。

大会運営には、今年も鹿屋女子高インターアクトクラブの皆さん、鹿屋ローターアクトクラブの皆さんが協力してくれました。

今回は、少し参加者のエントリーが少なかったのですが、とても充実した大会となったので、また次回の大会へ繋げていければと思います。

鹿屋RC 青少年奉仕委員長 田畑 亮



延岡中央ロータリークラブ (2026年1月22日)

親睦の絆が拓く新たな奉仕の可能性 -- 延岡中央RC、チャリティオークションが起こした善意の熱狂

西本ガバナーより過分なご指名をいただき、光栄に存じます。

去る2026年1月22日、エンシティホテル延岡にて開催した新年親睦会において、当クラブ初となる「チャリティオークション」を実施いたしました。会員49名という規模ながら、一晩でお

預かりした善意は489,000円。当初の予想を遥かに上回る、驚くべき結果となりました。

この熱狂の裏側には、ロータリーが重んじる「親睦 (Fellowship)」を、いかに「奉仕 (Service)」へと昇華させるかという、私たちの挑戦がありました。



フェローシップ委員会：藤田康広副委員長、川邊應澄委員、山岡一城委員、緒方大輔委員、大神広介委員、島田将行委員

「人徳」を可視化する演出への転換

当初、オークションは出品者への配慮から「匿名出品」を予定しておりました。しかし、集まった品々の素晴らしさ、出品者各位の魅力的なお人柄、そして何より我がクラブが誇る「寛大で笑い合える温かな空気感」に触れ、私は直前にシナリオの全面書き換えを決断しました。

急遽採用したのは、出品者が自らマイクを握り、壇上で想いを語る「実名プレゼン形式」です。

ロータリーにおける寄付の本質は、単なる商品の売買ではありません。商品価値を超えた「出品者の人徳」と、それに応えようとする

「会員同士の友情」の相乗効果(シナジー)にこそ真価があると確信したからです。

出品者が語るエピソードやユーモア、それに呼応して会場を揺らす白熱した競り。白手袋を嵌めたフェローシップ委員がアシスタントを務め、オークションハンマーが鳴り響くたびに、会場は笑い一体感、そして仲間を想う「誇り」に満たされました。特に一点の高級腕時計が40万円で落札された瞬間は、当クラブが長年培ってきた「伝統」と「親睦」の深さが可視化された、まさに歴史的な一幕となりました。



落札者の喜びの笑顔

緻密な準備が「自由な親睦」を生む

親睦の場こそ、超我の精神 (Service Above Self) でプロフェッショナルな設えを「これが私たちのモットーでした。」

北林会長主演のオープニングムービーによる期待感の醸成、親睦を主眼に誰もが参加しやすい進行管理、出品者と落札者の笑顔が弾

ける記念撮影、そして現金のやり取りを排した円滑な決済フロー (後日精算方式) の構築。こうしたバックエンドの緻密な設計があつてこそ、会員の皆様は心置きなく親睦を楽しみ、結果としてこれほどまでに大きな善意が寄せられたのだと感じております。



西本ガバナーご夫妻

大久保地区幹事ご夫妻

第2730地区の皆様へ

今回の成功は、北林会長の深いご理解と、ベテラン会員の皆様が守り続けてこられた「寛大さ」という当クラブの唯一無二の土壌があつてこそ実現したものです。

延岡中央ロータリークラブという一滴の雫が生んだこの熱狂が、宮崎・鹿児島地区全体へと広がり、各クラブの活性化の一助となれば幸いです。

「親睦の先にこそ、真の奉仕がある」

この確信を胸に、弁護士としての専門性、そして一人のロータリアンとしての情熱をもって、これからも地区の発展に寄与してまいります。今回の企画にご協力いただいた全ての皆様に厚く御礼申し上げますとともに、地区の各クラブの皆様と、この「親睦の可能性」について語り合える日を心より楽しみにしております。

延岡中央RC フェロシップ委員長 柏田 笙磨



競売人を務めて頂いた川邊会員



落札された藤田会員と北林会長



オークション品を実演する馬原幹事



緒方スタッフも思わず爆笑



親睦の場に華を添える、女性会員の活躍



岡田直前会長による乾杯



延岡中央ロータリークラブ会員と華陽会ご夫人方々

鹿児島令和ロータリークラブ (2025年12月13日)

クリスマス子ども食堂支援プロジェクト 【本の寄贈&桜ヶ丘こころの食堂クリスマス会】

鹿児島令和ロータリークラブは、生活上の困難を理由に、クリスマスを笑顔で過ごすことのできないご家庭に対し、地域の子ども食堂と連携し、子どもには「笑顔」を、家庭には「安心」を届けることを目的とした「クリスマス子ども食堂支援プロジェクト」を行いました。

県内(離島を含む)の子ども食堂からクリスマスプレゼントをもらうことが難しい家庭の子どもたちへ、子どもたちが選んだ本を496冊、210世帯、420名へプレゼントしました。贈呈式を兼ねて12月13日に「桜ヶ丘こころの食堂クリスマス会」を開催して、お菓子やジュースの配布、射的・じゃんけん大会などのゲームや、サンタクロースとの交流など、子どもたちと一緒にクリスマス会を楽しむ事ができました。

こうした活動が、子どもをはじめ各家庭のたのしい思い出となり、子どもの明るい未来へ繋がると考えております。

鹿児島令和RC 広報・公共イメージ委員会 新田 誠



日向ロータリークラブ

国際ロータリー第2730地区67クラブ訪問を通して見えた、ロータリーの“本質”

本年度、私は勉強の機会をいただき、約7か月間をかけて国際ロータリー第2730地区内67クラブを訪問いたしました。この地区内クラブ訪問のきっかけは、昨年出席した会長エレクトセミナー(PETS)にあります。

各クラブへの挨拶の中で私は、「ロータリーに入会して6年と日が浅いながら、会長を務めることとなりました。勉強のためにも、各クラブを訪問させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします」と申しあげました。今振り返ると、この何気ない一言が、地区内67クラブを巡る大きなきっかけになったのだと思います。

当初は、地区内を11に区分した中で、まずは自クラブが属する宮崎県北部グループ7クラブをメイキャップで訪問し、その後、時間を見ながら宮崎県内を回っていければよい——その程度の、いわば緩やかな気持ちでのスタートでした。

しかしある日、地区内で“ロータリーレジェンド”と呼ばれる先輩会員の方から、「徳永さん、頑張ってるね。あと残り何クラブ？」と声を掛けていただきました。その問いに、私は即座に答えることができませんでした。そもそも当時は、「県内を数クラブ回れば十分」という感覚で、全体像など全く意識していなかったからです。

その時、自分が発した言葉の重みと、その責任を少しずつ前向きに受け止めるようになりました。

そして12クラブほど訪問を終えた頃でしょうか。不思議なことに、クラブ訪問そのものが楽しくなり、いつの間にかメイキャップが“仕事の一つ”のように感じられるようになっていました。



日向RC 66代 会長 徳永博樹

私自身、ロータリーに入会して7年目となりますが、決して十分な知識や経験を積んだ上で活動してきたとは言えません。入会して間もない2年目、右も左も分からないまま幹事を任せられ、その後3年間にわたり幹事を務めることとなりました。会務の進め方もロータリーの考え方も理解が追いつかない中、ただ必死に役割を果たす日々が続いていたように思います。

そして本年度、会長という大役を拝命いたしました。率直に申し上げますと、「自分で本当に務まるのだろうか」という不安は、今でも心の中にあります。同時に、自クラブの中だけで考え、これまでの延長線上だけで会長職を務めて良いのか、という疑問も強くなっていきました。

他のクラブは、どのような例会を行い、どのように親睦を深め、奉仕へとつなげているのか。机上で学ぶだけではなく、実際に足を運び、自分の目で見て、耳で聞き、感じてみたい。その思いが、地区内クラブ訪問を本格的に進めていく原動力となりました。

67クラブを訪問する中で、まず目に留まったのは例会出席率です。平均すると7割前後のクラブが多く、決して高い数字ばかりではありません。しかし、どのクラブもメイキャップを積極的に活用され、実質的な出席率を高めておられました。

ただ、訪問を重ねるにつれ、私は別のことに気づき始めました。それは、出席率という数字以上に、例会の「空気」や「雰囲気」が、そのクラブの魅力を大きく左右しているということです。挨拶の声の掛け方、幹事報告の伝え方、会員同士のちょっとした会話。そうした一つひとつの積み重ねが、「また来たい」と思える例会をつくっているように感じました。

多くのクラブで共通して印象に残ったのは、親睦活動の在り方です。親睦そのものを目的にしているのではなく、活動の結果として自然に親睦が深まっているクラブが少なくありませんでした。家族を交えた行事、地域に根差した奉仕活動、会員同士の気軽な交流。形式や規模はさまざまですが、共通していたのは「無理をしていない」という点でした。そのクラブらしさを大切に、等身大で活動していることが、居心地の良さにつながっているのだと感じました。

こうした67クラブ訪問を通じて、実は自クラブの中にも変化が生まれました。これまで以上に積極的に他クラブへメイキャップに出向くようになり、また他クラブの会長をはじめとする会員の皆さまが、当クラブの例会に足を運んでくださる機会も増えました。正直なところ、時間も費用も決して少なくはありませんでしたが、それ以上に、地区内における親睦とつながりを深めることができたと感じています。

当然ながら、67クラブには67通りの個性があります。会員数、歴史、地域性も異なり、同じ運営方法が通用するわけではありません。それでも、どのクラブにも共通して感じられたものがありました。そ

れは、「ロータリーをより良くしたい」という、会員一人ひとりの素直な思いです。悩みながらも前向き、工夫を重ね、仲間と支え合いながら活動している姿に、私は何度も励まされました。

今回のクラブ訪問を通じて、私は自クラブを改めて見つめ直すようになりました。「本当に居心地の良いクラブとは何か」「会員一人ひとりの声に、きちんと耳を傾けられているだろうか」。他クラブを知ること、比較や優劣をつけることではありません。自クラブの良さや課題を、客観的に見つめ直す機会なのだ、今は感じています。

最後になりますが、ご多忙の中にもかかわらず、温かく迎えてくださった各クラブの会長・幹事、そして会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。短い滞在時間の中で、多くの学びと気づきを与えていただきました。

この67クラブ訪問で得た経験を、自クラブだけに留めるのではなく、地区全体の活性化へとつなげていくことが、訪問させていただいた者の責任であると感じております。今後も学びを止めることなく、ロータリーの原点を大切に、一歩ずつ歩んでまいりたいと思います。

日向RC 会長 徳永博樹



奄美2RC合同新年会に参加



第3475地区台北民楽RC 友好クラブ調印式



奄美3RC 新年会訪問 重信ガバナー補佐を囲んで



鹿児島東南RC訪問 瀬戸口会長とバナー交換



鹿屋RC訪問 右田会長とバナー交換



伊集院RC 徳重神社参り(枕崎RC 加世田RC 指宿RC 穎娃RC)



奄美中央RC重信ガバナー補佐及び会員の皆様(日向細島にて)



南九州大崎RC 楠田会長、きもつきRC 上原会長、串良RC 吉留副会長

社会奉仕委員会便り

～ロータリークラブに入会して～

私は、母がロータリークラブに入会していたこともあり、2020年9月に何もわからないまま昼12時過ぎに、作業着からスーツに着替え入会式に出席し、ロータリアンとなりました。

4年間の大学生活、その後4年間の社会人経験を終え当時27歳、ロータリークラブに入会する2カ月前に東京から奄美大島へ加行の為に帰ってきたばかりでした。もちろん例会場に顔見知りの方はほとんどおらず、知らない会社の社長、役員クラスの方々数十名が集まり、突然知らない歌を歌いはじめ、「何が始まるんだろう?」とかなり戸惑った記憶があります。入会した時は既にコロナ禍で、年の半分近くが休会だった年もあり、黙食は当たり前、懇親会なども基本的に開催されず、会員とのコミュニケーションもなかなか取れないまま2年近く経ちました。

ロータリークラブに入会して自分が成長できたきっかけがいくつかあります。当クラブの委員会は代替4,5名程度で編成されています。私は2年目にSAA委員になり、例にもれず5名ほどの編成だったのですが、他のSAA委員の方の仕事が忙しいため、例会参加ができず、1人で何週か続けて司会進行をするしかない状況が続きました。これまで、人前で喋る経験をしたことはなく、「ゲストやビジターがいらっしゃる時は誰が紹介するのか?」、「プログラム卓話は何分あって、逆算して会長挨拶は何時から?」など、今思い返せば難しいことではないですが、当時は頭の中が混乱している状態で何とか進行了。これを何週も続けていくうちに頭の中で整理しながら喋る事が出来るようになったり、実は人前で喋ることが思っていたほど、苦手ではなかったことも知れたりしました。この期間にある先輩から「SAAは

例会の監督のようなものだから、自分が思うように進めてみるといいよ」と助言をいただけたのも心強かったことを覚えています。

4年目の頃、「幹事をお願いできないか?」と現会長からお電話をいただき、正直不安が9割とやってみたくが1割くらいの気持ちだったのですが、即答でやる事を決めました。幹事をやると決めてから初めて、地区研修協議会や地区大会他、RLIなどの地区の行事にも参加し、奄美グループ以外のロータリアンの皆様と接する機会も増えていき、クラブごとの特色も実感し、帰ってきてさらに自分たちのクラブの特色にも改めて気づけました。比較的、奄美中央ロータリークラブは40代の方が多く、60～80代の方が積極的に例会や情報交流会へ参加しているな、と感じます。また、20%弱は女性会員でパワフルな方がとても多いです。

今、32歳でロータリー歴は5年半ですが、他のロータリアンの経営者の方々に比べて圧倒的に社会経験と知識が足りません。それでも、「幹事これはどうしますか?」、「幹事これで良いですか?」と大先輩から質問や確認を頂きます。最初はプレッシャーもありましたが、人前で喋ることと同じで対応できる筋肉が付いてきました。社会奉仕や奨学金寄付など、人のために行動することはもちろんですが、社会人としても経営側の人間としても必要なことを身近な先輩方から学べることもロータリークラブの強みだと、特にこの1年半強く感じています。

幹事を経験できたからこそ、今後のロータリーライフもより一層楽しめそうです。

奄美中央RC 幹事 上堀内 志一



～ウイルス感染症との闘い～

鹿児島大学アカデミーRCが2020年5月27日に国際RCより認証を受けてから、既に約5年半が経過しました。設立当時は、新型コロナウイルス感染によるCOVID-19パンデミックの真ただ中で、RCとしての活動にも大きな制限がかかるような状況でした。私は鹿児島大学においてウイルス学、特にウイルス感染症治療薬の研究を専門としておりますため、パンデミックが始まった当初からCOVID-19治療薬の研究を開始致しました。COVID-19に対しては、非常に速いスピードでウイルス遺伝子を修飾したワクチンが開発され、重症化の抑制にはある程度の効果を発揮したと思いますが、残念ながら感染の予防に対しては期待通りの役割を果たせませんでした。一般的にウイルスは、遺伝子変異を起こしやすく、新型コロナウイルスの場合も遺伝子変異によって弱毒化した変異株が次々と誕生しています。これらの変異株は感染力が強く、高い免疫逃避能(免疫から逃れる力)を持っているため、COVID-19は現在でも世界中で流行しています。人類がこのような性質を持った新型コロナウイルスに対抗するためには、ワクチンに加えて有効な治療薬(抗ウイルス薬)の開発が必要であると考えられています。しかし、抗ウイルス薬の開

発には長い時間と莫大な費用がかかるため、現在のCOVID-19に対する治療薬は高価であり、費用対効果の観点からあまり積極的に使用されていないというのが現状です。

ウイルス感染症と言え、RCは世界のポリオ(小児まひ)根絶活動の「中心的存在」であり、長年にわたって資金・人材・国際協力の面で最大級の貢献を続けていることは言うまでもありません。RCのワクチン接種を中心とした取り組みにより、ポリオの発生率が99.9%まで減少させることに成功しています。その結果、野生株(元から流行していた株)の存在は、世界でアフガニスタンとパキスタンの2か国のみになりましたが、ワクチン由来の変異株が多く、多くの国で散発的に感染を引き起こしており、これをどのようにコントロールしていくかが最大の課題であると思われます。

最後になりますが、私が所属する鹿児島大学先端科学研究推進センター・感染制御研究部門には、危険なウイルスを用いた感染実験を行うために必要なバイオセーフティレベル3(BSL3)実験室が整備されており、私はこのBSL3実験室の中で抗ウイルス薬の研究を行っております。

鹿児島大学アカデミーRC 馬場 昌範



◀センターの感染制御研究部門に設置されたBSL3実験室



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 311

2026年2月13日 発行

1 台北国際大会で分科会開催が正式決定

6月13日から17日まで台湾の台北南港展覽館 (TaiNEX) で開催される台北国際ロータリー年次大会 (台北国際大会) において、当財団の分科会開催が正式に決定しました。

タイトルは「広がる基盤・つながる世界 ～ロータリーとともに歩む米山学友の実践～」。米山学友4人が登壇し、学友会活動や国際的なネットワークの広がりを紹介しながら、米山学友がロータリーのパートナーとして「奉仕の理想」を実践している姿を発信します。分科会は6月15日 (月) 午前9時30分から開催予定です。参加予約は不要で、入室順のご着席となります。

また、会期中は友愛の家でのブース出展も計

画しており、現在申請中です。ブースでは台湾の米山学友や、よねやま親善大使らが世界のロータリー会員へ米山奨学事業の魅力をもPRする予定です。また、ブースでは限定グッズの配布や体験イベントを企画しています。多くの方のご来場をお待ちしています。

併せて、6月12日 (金) には台湾米山学友会主催の歓迎懇親会が開催されます。登録開始は3月以降で、詳細は順次案内される予定です。ご都合が合う方は、ぜひこちらの懇親会にもご参加ください。

国際大会 分科会

6/15
Mon

2026年6月15日 (月) 09:30～10:30

分科会タイトル：広がる基盤・つながる世界
～ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践～

登壇者 (米山学友)



林岳毅さん (台湾) 2000-01/札幌清田RC
朴貞子さん (中国) 2006-08/岸和田RC
バンバット、トゥメンデルゲルさん (モンゴル) 2014-15/大阪東RC
フィンティミーハンさん (ベトナム) 2001-02/金沢みなとRC

学友4名が学友会活動やネットワークを紹介し、ロータリー学友が「奉仕の理想」を共に実現するロータリーのパートナーとなっているヒントを共有します。

2 寄付金速報 — 2026年は緩やかにスタート —

前年同期比

-3.7%

普 +0.9% 特 -6.0%

1月末までの寄付金は、前年同期と比べて3.7%減 (普通寄付金: 0.9%増、特別寄付金: 6.0%減) となり、約3,600万円の減少となりました。前年同期比

では減少しているものの、単月の寄付額は普通寄付金・特別寄付金ともに微増しており、回復の兆しが見られます。例年1月は、普通寄付金 (クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付) の下期分の納入が中心となります。2月も引き続き、皆さまのご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

3 東京米山友愛RCとベトナム南米山学友会が協働

米山学友を中心に設立された第2750地区東京米山友愛ロータリークラブが昨年12月、ベトナムのホーチミン市にてベトナム南米山学友会と協力し、地区補助金を活用した国際奉仕活動を実施しました。



さらに、日本語を学ぶベトナムの大学生6人に「Yoneyama Vietnam 奨学金」を贈呈するなど、次世代育成にも取り組みました。

同クラブ会長の朴貞子さん (2006-08/岸和田RC) は、「この活動を通じて、米山の輪が確実に世界へと広がっていることを実感しました。米山学友と現役ロータリー会員が世代や国境を越えて協働する意義の大きさを再認識するとともに、参加者一人ひとりの心もより豊かになったと感じています」と語りました。

現地では、孤児院2施設と視覚障害児支援施設の計3施設を訪問し、子どもたちの学習用品やリュック、視覚障害者用そろばん、杖などの支援物資を届けました。また、子どもたちによる歌やダンスが披露され、言葉や文化の違いを越えて心が通い合うひとときを共有しました。

田RC) は、「この活動を通じて、米山の輪が確実に世界へと広がっていることを実感しました。米山学友と現役ロータリー会員が世代や国境を越えて協働する意義の大きさを再認識するとともに、参加者一人ひとりの心もより豊かになったと感じています」と語りました。

4 当財団への寄付により2人が紺綬褒章を受章

第2590地区横浜金沢東RCの遠藤尚男氏と、第2780地区藤沢北西RCの井上直紀氏が、昨年9月27日付で紺綬褒章を受章されました。

遠藤氏は2月4日、井上氏は2月5日に、それぞれ所属クラブの例会にて褒章伝達式が行われ、出席した当財団の相澤光春副理事長から褒

章と章記が贈られました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

5 各国の料理を囲んで新年会 第2550地区学友会

2月1日、第2550地区米山学友会が宇都宮市内にて、2026年度新年会を開催し、米山学友とその家族6人、米山奨学生15人、ロータリー会員5人の計26人が参加しました。新年を祝うとともに、国際色豊かな交流のひとときを楽しみました。



や中華麺を加えたインドネシアの伝統料理「バクソ」をメインに、ベトナムの揚げ春巻きや中華チャーハンが並び、各国の料理を囲んで会話が弾

ました。参加者はそれぞれ近況を報告し合い、世代や国籍を越えた和やかな歓談の時間となりました。2025年の労をねぎらいながら、新たな一年の飛躍を願う、温かな新年会となりました。

ました。参加者はそれぞれ近況を報告し合い、世代や国籍を越えた和やかな歓談の時間となりました。2025年の労をねぎらいながら、新たな一年の飛躍を願う、温かな新年会となりました。

スリランカ米山学友会 10周年記念総会開催のご案内

- ◇2026年5月31日 (日) 16:00～20:00
- ◇会場：AMARI HOTEL (コロンボ)
- ◇前日にコロンボシティツアー、前夜祭開催

詳細はこちら



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾(ながお)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学金 25-26年度 寄付金の傾向

1月の寄付金傾向

1月分合計額 164,242,634 円
 累計額 961,101,357 円 (前年同期比 3,640 万円減)

(前年度 1月合計額：155,662,627 円 累計額：997,484,465 円)

普通寄付金

1月当月 122,831,022 円
 1月末累計 347,032,345 円
 (前年度比 0.94% 減)
 (" 320 万円減)
 (予算達成率 84.6%)

普通寄付金下期分は1,628 クラブ(75%)からご納入いただきました(昨年度は1,587 クラブ)。既に12 地区が納入割合80%を超えております。当会の奨学事業にご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。2026 年も下期分のご送金をよろしくお願いいたします。

★普通寄付金納入状況・下期分(納入数/クラブ数)

地区	納入数/クラブ数	納入割合	地区	納入数/クラブ数	納入割合
2500	45 / 64	70%	2670	57 / 73	78%
2510	42 / 67	63%	2680	52 / 67	78%
2520	47 / 76	62%	2690	57 / 65	88%
2530	47 / 59	80%	2700	50 / 61	82%
2540	18 / 40	45%	2710	66 / 72	92%
2550	28 / 45	62%	2720	52 / 74	70%
2560	46 / 54	85%	2730	42 / 67	63%
2570	41 / 44	93%	2740	42 / 54	78%
2580	47 / 73	64%	2750	65 / 89	73%
2590	45 / 50	90%	2760	70 / 84	83%
2600	43 / 52	83%	2770	48 / 66	73%
2610	45 / 63	71%	2780	49 / 67	73%
2620	48 / 73	66%	2790	64 / 83	77%
2630	62 / 74	84%	2800	39 / 49	80%
2640	40 / 61	66%	2820	40 / 54	74%
2650	70 / 96	73%	2830	26 / 40	65%
2660	60 / 80	75%	2840	35 / 43	81%

合計：納入数 1,628RC
 地区ロータリークラブ数 2,179RC
 普通寄付納入実績 1月 31日現在、当会入金分

特別寄付金

1月当月 41,411,612 円
 1月末累計 614,069,012 円
 (前年度比 6.06% 減)
 (" 3,960 万円減)
 (予算達成率 70.6%)

1月末累計額は前年同期比6.06%減、約3,960万円の減少となりました。当月は100万円以上の大口寄付はありませんでしたが、1月の単月寄付額が4,000万円を超えました。これは、2016年度以降初めてのことで(下記グラフ参照)。今後とも引き続き、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

- ☆ガバナー公式訪問 D2700 大牟田RC 1.75 万円
- ☆創立記念寄付 D2670 高知中央RC 10 万円
- ☆地区大会寄付 D2670 10 万円



会員数動向(12月)

クラブ名	期首(2025/7/1)		12月		7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率 1/16現在
	会員数 (うち女性)	末日会員数 (うち女性)	会員数増減	登録率 1/16現在		
宮崎県北部	延岡	70 (7)	75 (10)	5	54.67	
	日向	17 (3)	14 (3)	△3	78.57	
	延岡東	53 (7)	53 (6)	0	75.47	
	日向東	24 (3)	24 (3)	0	76.00	
	延岡中央	47 (3)	49 (3)	2	71.43	
	日向中央	18 (3)	17 (3)	△1	76.47	
	門川	7 (2)	7 (2)	0	57.14	
	計(7RC)	236 (28)	239 (30)	3	69.96	
宮崎県中部	宮崎	93 (7)	99 (8)	6	89.90	
	宮崎西	86 (6)	91 (6)	5	38.46	
	宮崎北	70 (11)	70 (11)	0	38.57	
	宮崎南	57 (3)	56 (3)	△1	62.50	
	高鍋	36 (4)	38 (5)	2	44.74	
	西都	13 (2)	13 (2)	0	23.08	
	宮崎中央	48 (1)	50 (2)	2	94.00	
	佐土原	26 (3)	27 (3)	1	29.63	
	宮崎東	20 (1)	22 (1)	2	50.00	
	宮崎アガミ	26 (7)	24 (7)	△2	91.67	
	計(10RC)	475 (45)	490 (48)	15	56.26	
宮崎県西部	都城	60 (10)	63 (10)	3	88.89	
	小林	26 (4)	29 (4)	3	41.38	
	都城北	45 (4)	46 (4)	1	78.26	
	えびの	8 (2)	8 (2)	0	62.50	
	都城西	33 (6)	36 (6)	3	88.57	
	小林中央	8 (0)	6 (0)	△2	33.33	
	都城中央	29 (5)	30 (6)	1	60.00	
	2730ジャパンクラブ	18 (5)	18 (5)	0	94.44	
	計(8RC)	227 (36)	236 (37)	9	68.42	
宮崎県南部	日南	32 (2)	33 (2)	1	30.30	
	日南中央	9 (0)	9 (0)	0	11.11	
	串間	1 (0)	1 (0)	0	33.33	
	計(3RC)	42 (2)	43 (2)	1	24.91	
鹿児島県北部	川内	63 (2)	67 (2)	4	41.79	
	串木野	32 (8)	31 (7)	△1	58.06	
	出水	39 (3)	41 (4)	2	82.05	
	阿久根	39 (3)	39 (3)	0	92.31	
	大口	31 (3)	31 (3)	0	87.10	
	薩摩川内	26 (2)	27 (2)	1	33.33	
	宮之城	6 (1)	6 (1)	0	50.00	
	計(7RC)	236 (22)	242 (22)	6	63.52	

クラブ名	期首(2025/7/1)		12月		7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率 1/16現在
	会員数 (うち女性)	末日会員数 (うち女性)	会員数増減	登録率 1/16現在		
鹿児島県中部	加治木	22 (0)	19 (0)	△3	68.42	
	国分	41 (4)	42 (5)	1	97.62	
	霧島	16 (1)	16 (1)	0	87.50	
	国分中央	35 (4)	35 (4)	1	37.84	
	始良	16 (0)	18 (0)	2	55.56	
	計(5RC)	130 (9)	131 (10)	1	69.39	
鹿児島県西部	指宿	18 (0)	20 (2)	2	40.00	
	伊集院	23 (1)	24 (2)	1	41.67	
	加世田	20 (1)	20 (1)	0	55.00	
	穎娃	2 (0)	3 (0)	1	50.00	
	枕崎	19 (3)	18 (3)	△1	61.11	
	計(5RC)	82 (5)	85 (8)	3	49.56	
鹿児島県南部	鹿児島南	32 (5)	31 (5)	△1	61.29	
	鹿児島西	80 (8)	75 (6)	△5	64.00	
	鹿児島城西	25 (3)	24 (3)	△1	100.00	
	鹿児島東	20 (3)	19 (3)	△1	96.43	
	鹿児島東ひだまり衛星	8 (4)	9 (4)	1	—	
	鹿児島ササノイイト	40 (10)	38 (9)	△2	91.67	
	鹿児島ササノイイト衛星	0 (0)	10 (4)	10	—	
	鹿児島令和	30 (8)	30 (7)	0	100.00	
	計(6RC+2衛星)	235 (41)	236 (41)	1	85.57	
鹿児島市内A	鹿児島	71 (7)	78 (8)	7	41.03	
	鹿児島東南	22 (1)	22 (1)	0	95.45	
	鹿児島中央	47 (4)	46 (4)	△1	100.00	
	鹿児島北	27 (4)	29 (4)	2	79.31	
	鹿児島大学アガミ	44 (10)	48 (12)	4	95.83	
	計(5RC)	211 (26)	223 (29)	12	82.32	
鹿児島市内B	鹿児島	51 (7)	51 (7)	0	96.08	
	串良	26 (2)	24 (1)	△2	45.83	
	鹿児島西	41 (9)	39 (6)	△2	74.36	
	志布志	16 (2)	17 (3)	1	29.41	
	かのや東	37 (2)	36 (2)	△1	41.67	
	きもつき	21 (1)	22 (1)	1	40.91	
	南九州大崎	30 (4)	32 (4)	2	34.38	
	志布志みなと	36 (4)	37 (4)	1	100.00	
	計(8RC)	258 (31)	258 (28)	0	57.83	
奄美	奄美	45 (8)	45 (8)	0	32.61	
	奄美中央	62 (11)	60 (11)	△2	16.67	
	奄美瀬戸内	15 (1)	15 (1)	0	20.00	
	計(3RC)	122 (20)	120 (20)	△2	23.09	
総計	2,254(265)	2,303(275)	49	64.50		

■入会者一覧

(ご入会おめでとうございます。)

12月		
会員名	クラブ名	退会日
川原 正照	国分中央	2025/12/3
有満 裕	鹿児島南	2025/12/17
新原 章子	鹿児島東ひだまり衛星	2025/12/1
奥山 亮	鹿児島	2025/12/5
緒方 千奈	鹿児島	2025/12/5
竹之内 章	鹿児島北	2025/12/1
濱崎 裕充	鹿児島北	2025/12/1
高目 和昭	鹿屋西	2025/12/1

■退会者一覧

(おつかれさまでした。)

12月		
会員名	クラブ名	退会日
坂本 淳一	日向	2025/12/31
西田 恒明	日向	2025/12/31
菊池 博文	日向中央	2025/12/31
久保山 芳郎	宮崎西	2025/12/31
寺村 明之	宮崎南	2025/12/31
明石 良	宮崎アカデミー	2025/12/9
安田 文彦	宮崎アカデミー	2025/12/9
金岡 保之	宮崎アカデミー	2025/12/31
山崎 照代	都城中央	2025/12/26
枇杷 賢史	川内	2025/12/31
吉瀬 千賀子	阿久根	2025/12/31
松田 正樹	加治木	2025/12/31
溝延 祐樹	加治木	2025/12/31
直井 圭介	鹿児島南	2025/12/10
木脇 良知	鹿児島南	2025/12/31
原田 恭幸	鹿児島西	2025/12/31
森 俊英	鹿児島西	2025/12/31
内田 旭	鹿児島西	2025/12/31
宮田 聡子	鹿児島西	2025/12/31
迫田 美智代	鹿児島東ひだまり衛星	2025/12/1
松田 泉	鹿児島サンウインド	2025/12/30
松林 秀美	鹿児島サンウインド	2025/12/30
殿園 仁美	鹿児島令和	2025/12/1
下野 浩	鹿児島東南	2025/12/30
田實 大志朗	鹿児島中央	2025/12/31
村田 清尚	串良	2025/12/31

■退会者一覧

【名誉会員へ】

12月		
会員名	クラブ名	退会日
山中 富士夫	加治木RC	2025/12/31

■物故者一覧

(謹んでご冥福をお祈りいたします。)

会員名	クラブ名	退会日
島田 実 (享年73歳)	鹿児島城西RC ロータリー歴:39年	2025/12/29
前迫 実 (享年76歳)	鹿児島中央RC ロータリー歴:25年3ヶ月	2025/12/31
富永 春美 (享年61歳)	串木野RC ロータリー歴:6年	2025/12/31

花蓮光復馬太安溪土砂崩れ支援金及びポリオ募金報告

2025年10月、花蓮光復馬太安溪土砂崩れ支援金を募りましたところ、2025年12月31日時点で957,415円お寄せ頂きました。

また、2025年10月18日(土)～19日(日)に開催されました地区大会にて396,875円、募金にご協力頂きました。

2026年1月、地区大会で集まった197,437円を含め、「2025年花蓮復興災害救援基金」に1,155,852円、「公益財団法人ロータリー日本財団にポリオプラス寄付金」として198,438円を送金しましたことをご報告致します。

この度は、花蓮光復馬太安溪土砂崩れ支援金及びポリオ募金にご協力を頂き誠にありがとうございました。

出水ロータリークラブ

事務所変更のお知らせ

いつも大変お世話になっております。2026年3月1日より事務所が変更致します
新事務所は下記の通りです。

ご確認いただきご登録くださいますよう宜しくお願い致します。

新事務所

【住 所】〒899-0123鹿児島県出水市下鯖町549 事務員:川畑英子

【TEL/FAX】0996-67-1007

【E-mail】izumi-rotaryclub@po4.synapse.ne.jp

よろしくお願ひ致します。



延岡大師祭 お大師さん



奉 今山大師祭 修

九州三大春祭り

令和8年4月

17(金)18(土)19(日)

- 開会大法要
- 商店会お接待
- 見立て細工
- 市中パレード

